

孫の手通信



第32号

平成26年9月14日

玉川孫一郎と歩む会

TEL/FAX: 0475 (47) 3014

<http://magoichiro.blog47.fc2.com/>

6月議会から

6月18日に開催された第2回一宮町議会定例会は補正予算の他全ての議案を可決して閉会しました。補正予算の主な内容をお知らせします。

平成26年度一般会計(第2次)補正予算

補正額 1765万2千円

○新庁舎建設事業 626万4千円

正面玄関の雨除け屋根の変更や庁舎周りの舗装等の工事費です。

○矢畑区コミュニティ助成事業 170万円

矢畑区の自主防災組織が災害に備えて整備する避難テントや発電機等の費用を助成します。

○海水浴場障害者用多目的トイレ借り上げ 45万4千円

海水浴場に障害者のための多目的トイレを設置します。

○おむつ用ごみ袋配布事業 48万円

子育て家庭を支援するために2歳児未満の乳幼児一人につき年間50枚の広域組合指定可燃袋(20リットル)を配布します。

○働く女性支援のためのがん検診推進事業 97万1千円

乳がん、子宮がんの未受診者への受診を勧奨します。

○就農・育成給付金事業交付金 225万円
新規就農者を育成するために交付金を支給します。

○一宮小学校給食室改修工事 194万4千円

人権擁護委員の推薦同意

人権擁護委員に小川正美さん(15区)を推薦することに議会の同意をいただきました。任期は3年間です。

一宮海岸広場の整備

旧国民宿舎一宮荘の解体後、県の補助金を活用することにより跡地に公衆トイレと駐車場を備えた一宮海岸広場を整備してきました。

本年度は、「大塚実海と緑の基金」を活用することにより芝生広場とステージ、築山、そして小さな子供のための遊具を整備します。これで町民と観光客の憩いと交流の広場が完成します。

愛光保育園の建て替え

一宮町には町立私立合わせて4か所の保育所があり、4月1日現在定員300人のところ374人の児童が入所しています。その入所率は124%となっており、途中入所の希望数を合わせると年度中に130%を超える見込みです。今後とも共働き世帯の増加等により保育需要の拡大が見込まれ、待機児童が発生することも危惧されるため、このような定員超過を早急に解消し、安心して保育できる環境を整える必要があります。また愛光保育園は比較的新しい施設ですが、付近には高台が無いため津波が起きた場合の避難場所を確保できない環境にあります。

ちようど今年度限り、待機児童解消のため緊急整備を行う私立の保育所向けの有利な補助金が設けられたことから、

町立の保育所に先んじて施設の整備を行うことになりました。この補助金を活用することにより、事業者だけでなく町にとってもより少ない負担で保育環境の充実を図ることが可能となります。建て替え後は現在60人の定員が80人に増員され、2階建て園舎には地域住民も収容できる避難場所が備えられます。

現在は来年4月のオープンに向けて工事が順調に進められています。

農業委員会の改選

一宮町農業委員会の改選が7月に行われ、一宮町初の女性委員となる井桁繁さんが議会推薦により選出されました。

農業委員会は農業の発展と農民の地位の向上のために法律で市町村に置くことが義務付けられている行政機関で、農地転用や農地の売買などの審査を行っています。農業従事者の選挙で選出される選挙委員と市町村長が選任する選任委員から構成され、任期は3年間です。一宮町の場合、11人の選挙委員に加えて農協、農業共済組合、土地改良区からそれぞれ推薦された3名の選任委員、そして町議会から推薦された2名の学識経験を有する委員という構成になっています。

一宮町の政務活動費

地方議会の政務活動費のあり方への関心の高まりから一宮町の状況についてご質問をいただくことが多いため、ご説明いたします。

政務活動費は地方自治法に基づき議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付するものです。また交付額や交付方法については条例で規定されており、自治体によってそれぞれ異なります。

一宮町では条例により県内で最も低い金額である月額1千円を交付することと定められています。しかし実際には議会からの申し出により、平成21年以降政務活動費を町の予算に計上しておりませんので、政務活動費は0円となっています。

公立の施設民営化へ

一宮町 保育所整備で基本計画素案

一宮町は私立を含めた町内4カ所の保育所(園)の整備基本計画の素案をまとめた。素案には町立の一宮と東浪見の2施設を民営化し、移転建て替えることが盛り込まれている。町によると、長生地域の市町村が公立保育所の民営化方針を決めたのは初めて。

町福祉健康課によると、所定のない待機児童はいないものの、慢性的に定員超過しているのが、現状では4施設で計3所、私立の愛光保育園が過剰となっている施設があり、00人の定員を90人増やせる。教育関係者からは、建物の老朽化も進んでいると指摘されている。計画に基づき、一宮川沿いにある一宮保育所は、東日本大震災を要因として移転した「公立」として再整備を、町立の2施設は、保護者から津波被害を懸念する声が出てきていることから、一宮地区の高台に移転し、東浪見の保育所も、移転して建て替える。

一宮、東浪見の2施設については、町が移転先用地を取得して社会福祉法人による施設建設、運営を計画している。2施設とも、認可保育所が幼稚園的な機能を備える保育所型の「認定こども園」として整備。東浪見は2016年度、一宮は17年度の開園を目指す。原保育所は当面、適切な施設改修をして現状を維持。愛光保育園は現在地ですべての工事を行い、慢性的な定員超過を解消するための増設を図る。

最近の
新聞より

平成26年
6月5日
千葉日報

平成26年9月1日 千葉日報

国内最大規模2022人参加へ



九十九里 19~21日初開催

一宮町をメイン会場にした「九十九里トライアスロン」が、19~21日に初めて開かれる。2022人(リレー含む)がエントリーし、国内最大規模の大会となり、地元では「内房地区のアクアラインマラソンと並ぶ千葉の二大イベントに育てよう」と準備に追われている。

大会は一宮町と白子町、長生村、九十九里町、大網白里市、東金市の6市町村で行われる。競技は20日午前11時半にスタート。一宮町の河口付近を泳ぐスイム(1.5%)と東金九十九里有料道路、九十九里有料道路を自転車で走るバイク(40%)のコースで、五輪と同じ距離の計51.5%を競い合う。

大会実行委員会によると、河川や有料道路を利用しているため、波の影響を受けずに泳げ、カーブや高低差が少ないので初心者には走りやすく、上級者にとっては好タイムを狙えるコースとなっている。4月10日から参加者の募集を開始し、7月16日に定員に達したため締め切った。全国各地や海外の20~70代がエントリーした。大会アンバサダーを務めるモデルの道端カレンさんも出場する予定。競技当日は午前0時から、東金九十九里有料道路(午後4時まで)と九十九里有料道路(午後8時まで)が全線通行止めとなり、一宮町内でも交通規制が行われる。21日にはサーフィンの体験イベントなどが開かれる。

大会会長の玉川孫一郎・一宮町長は「参加者には周辺地域に宿泊してもらい、大会後も外房地域に観光に訪れてもらうことを期待している。大会を成功させ、来年以降も継続して開催したい」と話している。問い合わせは一宮町まちづくり推進課 ☎0475(42)1427、大会事務局 ☎03(5413)7571。



水中花火に見物客喝采 一宮・納涼花火大会 県内各地で花火大会が目白押し。2日に開催された一宮の納涼花火大会では、町の夏の風物詩である花火が、心を呼ぶのは、海辺の町ならではの水中花火。大砲を撃って、海水の中で火花を散らす。一宮海岸を眺めながら、5000人の観客を魅了した。(取材：玉川孫一郎)

新庁舎の完成祝う

町内を回り、踊りを指導し、撮影した。町内での評判は上々という。恋するフォーチュンクッキーは昨年8月に発売されたAKBの楽曲。楽しく踊れることから、地方公共団体や企業などさまざまな団体が、独自の踊る姿を撮影、公開している。



「恋するフォーチュンクッキー」一宮町バージョンの一場面。同町提供

一宮海水浴場もオープン

はまぐり祭り盛況

一宮町の一宮海水浴場が、19日海開きし、安全祈願式、長や町職員、観望隊から開かれた。式後は長や町職員、観望隊から開かれた。式後は長や町職員、観望隊から開かれた。式後は長や町職員、観望隊から開かれた。

水中心花火に見物客喝采

一宮・納涼花火大会 県内各地で花火大会が目白押し。2日に開催された一宮の納涼花火大会では、町の夏の風物詩である花火が、心を呼ぶのは、海辺の町ならではの水中花火。大砲を撃って、海水の中で火花を散らす。一宮海岸を眺めながら、5000人の観客を魅了した。(取材：玉川孫一郎)

みんなで「恋チュン」、一宮町バージョン

AKB48のヒット曲「恋するフォーチュンクッキー」に合わせて踊る、一宮町バージョンの動画が完成した。町長や全町職員、中学生、保育園児、さらにお年寄りからサーフアーまで約40組約800人が楽しく踊

平成26年5月21日 朝日新聞

平成26年7月13日 産経新聞

海外体験に期待膨らむ

一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。



一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。

平成26年

8月4日 毎日新聞

一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。

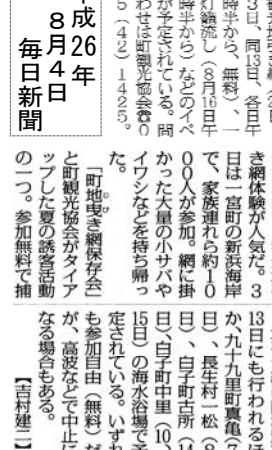


一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。

平成26年

8月4日 毎日新聞

一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。



一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。

平成26年

8月4日 毎日新聞

一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。



一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。

平成26年

8月4日 毎日新聞

一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。



一宮町と長生村、白子町、3町村が合同で中学生をオーストラリアに派遣する。